

# 共立女子短期大学・文科・英語コースにおける TOEIC<sup>®</sup>対策科目の授業実施方法

鶴田 達成

共立女子短期大学・文科・英語コースではTOEICのスコアアップを教育目標の一つに掲げ、TOEIC演習Ⅰ（1年次・必修・通年科目）とTOEIC演習Ⅱ（2年次・選択・通年科目）を設置している。1年次は英語プレイズメントテストのスコアで上位クラスと下位クラスに分けて2クラス設置している。2年次のTOEIC演習Ⅱは1年次の成績優秀者に履修するよう指導して650点以上の取得を目指している。本稿では、英語のリスニングとリーディングの技能の向上と語彙の増強のために私が実践しているTOEIC科目の授業実施方法と学習効果について述べる。

## 1. 1年次のクラス分けと2年次の履修指導

1年次のクラス分けは、入学時に実施されるプレイズメントテスト（CASEC）のリスニングセクション（Section 3と4）のスコアに基づいて行っている。2022年度の各クラスのスコア分布は、上位クラスは346点～266点、下位クラスは238点～185点であった。語彙・表現セクション（Section 1と2）のスコアも含めた総合点では、上位クラスは876点～774点（TOEIC換算で540点～445点）、下位クラスは776点～569点（TOEIC換算で445点～295点）であった。

2年次の授業では、1年次に受験したTOEIC IPテストや公開テストのスコアが450点以上の学生（最高得点は530点）にTOEIC演習Ⅱの履修を勧め、650点以上の取得を目指している。

## 2. 使用テキスト

2022年度の1年次上位クラスでは『TOEIC L&R テスト戦略的トレーニング：レベル600』（朝日出版社、2019）を通年で使用し、1年次下位クラスでは前期に『Simply 400：Acing the TOEIC Listening & Reading Test』を、後期に『Simply 500：Acing the TOEIC Listening & Reading Test』（共に南雲堂、2022）を使用した。2年次のTOEIC演習Ⅱでは通年で『Successful Keys to the TOEIC Listening and Reading Test 3：Goal 700』（桐原書

店、2007)を使用した。

テキストを選定する際は、1年次の授業ではTOEIC各パートの解法のコツの説明が充実していることは勿論だが、語彙・表現の確認問題や重要な文法項目の説明が含まれているものを選ぶようにしている。2年次の授業では、TOEIC解法のコツや文法の説明よりも問題演習量を重視してテキストを選定している。

### 3. テキスト使用前の事前説明

第1回目の授業では、リスニングの基礎知識として文アクセント（内容語と機能語）と音変化（連結、脱落、同化）について詳細に説明し、毎週の復習としてスクリプトを見ながら音声を聞いてシャドーイングをするよう指導している。

第1回目の後半から第2回目の前半にかけて、英文和訳と英文理解の違いを説明し、英文理解の基礎となる、文をフレーズに区切って前から解釈するチャンク（フレーズ）読み・サイトトランスレーションと、等位接続詞を含む文の分析方法の説明と問題演習を行っている。毎週の予習としてTOEIC演習問題に取り組む際にチャンク（フレーズ）読み・サイトトランスレーションを行い、等位接続詞が繋いでいる部分についても考えるように指示している。

### 4. 授業

第2回目の後半からテキストを使用した授業が始まる。授業の進め方は、第2回目の授業の後半にUnit 1の事前解説と語彙・文法事項の確認を行い、TOEIC演習問題は宿題にして学内ネットワークシステムで翌週の授業時まで提出させ、第3回目の授業で解説をするという流れである。取り扱う問題数を増やすため、授業中に問題演習を行って学生を指名して解答を発表させることはしていない。授業では事前に回収した解答の正解率を学生に提示しながら、不正解が多かった設問の解説に特に時間をかけるようにしている。その後で翌週のUnit 2の事前解説と語彙・文法事項の確認を行い、同UnitのTOEIC演習問題は宿題にして学内ネットワークシステムで解答を事前に提出させている。基本的にはこれを毎回の授業で繰り返している。

リスニングセクションの解説ではスクリプトを配布しているが、出版社が提供するものをそのまま使用することはない。第1回目の授業で説明した音の連結・脱落・同化に関する情報を書き込んだ資料を作成して配布し、授業中に音声を聞きながら音変化を確認させるようにしている。

〔配布スクリプト例〕

(Simply 500 : Acing the TOEIC Listening & Reading Test、南雲堂2022)

表記上の注意

anˆumbrella : 音の連結・音の同化

atˆ : 音の脱落

Part 1

1. (A) The manˆ is walking in the rain and looking upˆ atˆ the sky.  
(B) The manˆ is taking off his raincoatˆ on the street.  
(C) The manˆ is walking in the rain withoutˆ anˆ umbrella.  
(D) The manˆ is running in the rain withˆ anˆ umbrella.
2. (A) The womanˆ is wearing sunglasses.  
(B) The womanˆ is wearing gloves andˆ a knit hat.  
(C) The womanˆ is puttingˆ on her hat andˆ muffer.  
(D) The womanˆ is wearingˆ a long raincoat.

Part 2

3. Do you thinkˆ itˆ will be fine tomorrow?  
(A) I feel great.  
(B) Itˆ hasn'tˆ been decided.  
(C) The forecast says rainˆ again.
4. It's very cloudy, isn'tˆ it?  
(A) Yes, there are always lotsˆ of people here.  
(B) Yes, itˆ looks like rain.  
(C) There's nowhere to sitˆ down.

Part 3

Man: Whatˆ didˆ you two do atˆ the weekend?

Woman A: All the tennis club members wentˆ to the river for a barbecue.

Man: So, didˆ you haveˆ a goodˆ time?

Woman B: Well, atˆ firstˆ, butˆ after anˆ hour itˆ started raining, so we wentˆ to Ted's house.

Man: Wow! Itˆ mustˆ haveˆ been "jam-packed."

Woman A: Not really. He has quite a big house.

Woman B: We stayed at his place until eight. We had a great time.

#### Part 4

Although Japan often gets hit by some terrible weather, the weather here is quite predictable. So we all usually know what it's going to be like. Take typhoons, for example. The TV forecaster tells us where the storm is, and what kind of wind and rain it is bringing. If there is a severe storm warning for an area, schoolchildren and workers are allowed to go home early. That's why there are so few injuries caused by big storms.

リーディングセクションの解説では、テキストをスクリーンに映して私がスラッシュを入れながらチャンク（フレーズ）読み・サイトトランスレーションを実践して英文の意味を説明している。リーディングセクションに限らずリスニングセクションの解説でも、学生の語彙の少なさが目立つので高校レベルの単語であっても知っていることを前提とせず、意味や用法に関する説明を丁寧に行っている。具体的には、タブレット端末の辞書アプリをスクリーンに表示して、単語の意味だけでなく共起する前置詞、自動詞・他動詞の区別、名詞の可算・不可算の区別などを細かく解説している。

#### 5. 宿題と単語テスト

学生の語彙を増やすことが大きな課題であると常々感じているため、私は語彙の増強に最も力を入れる方針で毎週単語テストを行い、評価の50%を単語テストに充てている。毎回の授業で学んだテキストの範囲から15問の単語テストを作成して授業の冒頭で行っている。

単語テストの形式については、TOEIC対策に限定するなら意味が分かれば十分であるという意見もあると思うが、発信力を含めた英語運用能力を高めるためには英語を書かせるタイプの方が良いと考えて次のようなテスト問題を作成している。

指示文：文法に注意して空欄に入る英語を書きなさい。空欄の後の（ ）内は頭文字です。

- a. One of the biggest shopping malls is ( ) (c) ( ) (l) near the subway station. (便利な所にある)
- b. Ms. Douglas is writing an office memo to keep her staff members ( ) (i) about upcoming events. (～に知らせる)

- c. Your language skills will ( ) (q) you ( ) a job in an international company. (～に－の資格を与える)

この単語テストの英文は初見の英語ではない。前回の授業で扱ったユニットに下記の英文が出ており、be locatedがconvenientlyとよく共起すること、keep～過去分詞、qualify～for－の表現などについて説明を行った上で作成している。

- a. One of the biggest shopping malls is **conveniently located** near the subway station.
- b. Ms. Douglas is writing an office memo to **keep** her staff members **informed** about upcoming events.
- c.. Your language skills will **qualify** you **for** a job in an international company.

単語の勉強法として、単語帳（単語と意味だけのリスト）は作らず、ターゲットとなる単語が含まれている文を発音しながら書いて覚えるよう学生に指示している。前期の前半はconveniently locateやkeep～informのような動詞の活用形のミスや、3単現の(e)sの脱落、名詞の単数・複数間違いなどが多いが、次第に学生は文法にも気をつける習慣が身について、そのような間違いは減ってくる。この形式の単語テストはPart 5（短文穴埋め問題）対策としても有効であると思う。また、単語テストを行うことで出席率が非常に良く、授業の冒頭で行うため遅刻する学生もいない。説明を真剣に聞いてメモをしっかり取る学生も増えたと実感している。

## 6. 学習効果アンケート結果

私が担当するTOEIC科目は、文科・英語コース専門科目のTOEIC演習Ⅰ（1年次2クラス）とTOEIC演習Ⅱ（2年次1クラス）に加え、4大・短大共通の教養教育科目のアドバンスト英語C（2～4年次1クラス）の4科目あり、上記の方法で全ての授業を行っている。今年度私の授業を履修している全学生31名に学習効果アンケートを行った結果は次の通りであった。

設問1：音変化（音の脱落や連結）を示しているスクリプトを配布していますが、リスニングの学習に役立っていると思いますか？

- A：大変役立っている（13人）  
B：まあまあ役立っている（18人）  
C：あまり役立っていない（0人）

D：全く役立っていない（0人）

設問2：授業中に辞書を提示して単語の意味や用法を説明していますが、英語の学習に役立っていると思いますか？

A：大変役立っている（22人）

B：まあまあ役立っている（9人）

C：あまり役立っていない（0人）

D：全く役立っていない（0人）

設問3：この授業を受けて語彙の知識が増えたと思いますか？

A：かなり増えた（16人）

B：少し増えた（15人）

C：あまり増えていない（0人）

D：全く増えていない（0人）

設問4：語彙を増やすだけでなく文法に関する注意力を高めるために英語を書く形式の単語テストを毎週行っていますが、効果があると思いますか？

A：大変効果がある（10人）

B：まあまあ効果がある（20人）

C：あまり効果がない（1人）

D：全く効果がない（0人）

設問5：スラッシュを入れながら小さなまとまりごとに英文の意味を説明していますが、英語の理解や英文読解力の向上に役立っていると思いますか？

A：大変役立っている（15人）

B：まあまあ役立っている（15人）

C：あまり役立っていない（0人）

D：全く役立っていない（1人）

設問6：復習としてスクリプトを見ながら音声を聞いていますか？

A：毎週聞いている（1人）

B：毎週ではないがよく聞いている（3人）

C：たまにしか聞かない（12人）

D：全く聞かない（15人）

設問7：復習としてシャドーイングをしていますか？

A：毎週している（0人）

B：毎週ではないがよくしている（3人）

C：たまにしかしていない（12人）

D：全くしていない（16人）

授業の説明、配付資料、単語テスト等の工夫がどの程度役立っているかは学生が授業に取り組む姿勢に左右されるので個人差はあるが、設問1～5については概ね好意的な評価であった。リスニングの力を伸ばすために毎日英語を聞くこととシャドーイングをすることを学生に指示しているが、設問6～7の回答が示しているとおりに、実践している学生はかなり少ないことが分かった。この点を改善していくのが今後の課題である。